

21. 6. 2009

デフリンピック選手候補の競技環境と意識に関するアンケート調査報告



筑波技術大学 中村 有紀
及川 力
大杉 豊

調査概要

- 調査対象
第21回夏季デフリンピック(台北2009)選手候補
第17回冬季デフリンピック(ハイタラス2011)強化指定選手
- 調査期間 2009年2月～5月
- 調査方法
a) 各競技団体を通じて選手へ郵送し、記入後、郵送で回収
b) 選手へ直接郵送し、記入後、郵送で回収
c) 各競技団体の主催する合宿等で配布し、記入後、回収して郵送
- 回収率 151/212 (72.2%)

(参考)

パラリンピック選手の競技環境 その意識と実態調査

日本パラリンピアンズ協会 2008年6月

- 2008年 北京パラリンピック代表第一次決定選手
- 2010年 バンクーバー大会強化指定選手



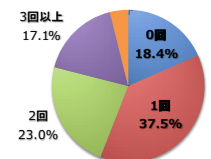
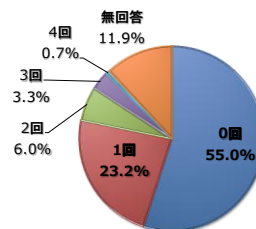
年齢、出場回数

平均年齢 26.7±7.5歳

半数以上が未経験

(参考)パラリンピック
平均年齢 34.6歳

日本パラリンピアンズ協会, 2008

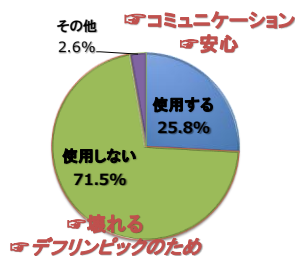
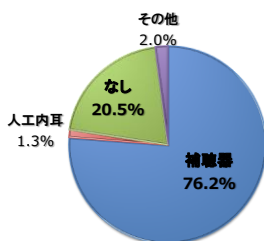


(参考2)北京オリンピック日本代表選手団
平均年齢 26.0歳

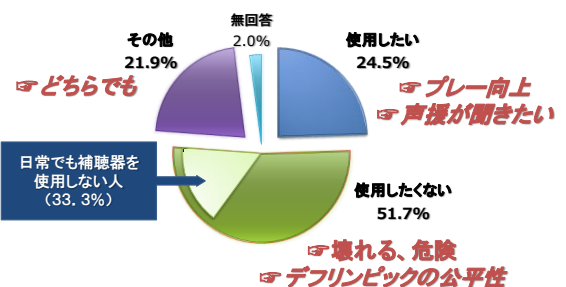
補聴器等の使用状況

日常
補聴器使用3/4

練習中
補聴器使用1/4

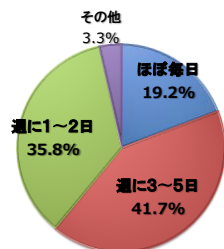


デフリンピックで補聴器を使用したいか

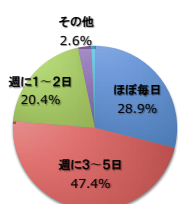


練習量

週3日以上練習できているのは約60%



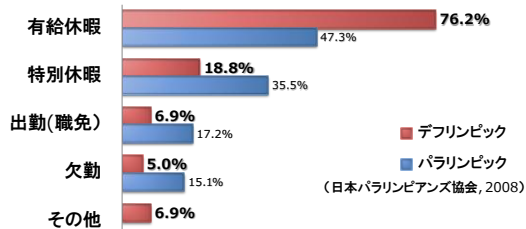
(参考)パラリンピック



日本パラリンピアンズ協会, 2008

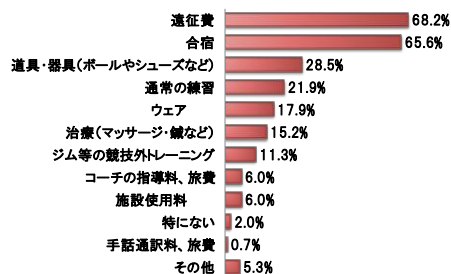
合宿、遠征時の職場での待遇

特別休暇などの待遇は30%以下



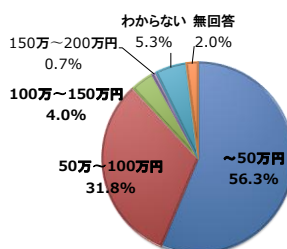
自己負担金額が大きい費用

さまざまなものを自己負担。特に合宿費、遠征費が高額。

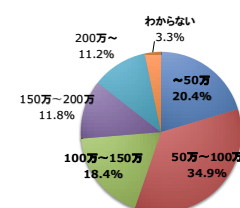


年間費用

金額は50万円以下
競技性の低さ?



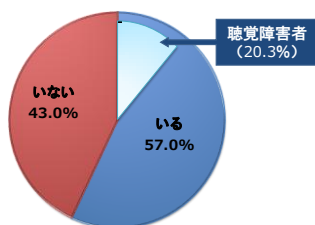
(参考)パラリンピック



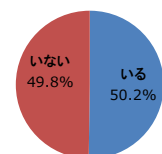
日本パラリンピアンズ協会, 2008

コーチ・トレーナー

「いる」57%
聴覚障害者は20%



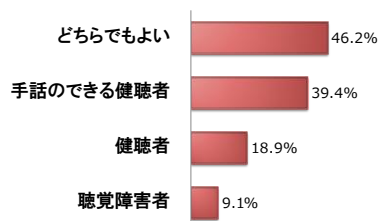
(参考)パラリンピック



日本パラリンピアンズ協会, 2008

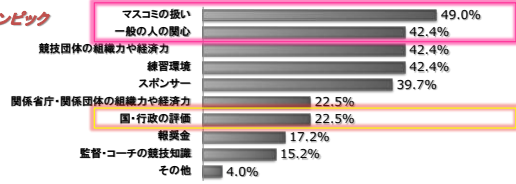
望ましいコーチ・トレーナー

60%が健聴者を希望 高い専門性を求める
手話ができればなお良い



オリンピック／パラリンピックと、デフリンピック

オリンピック



パラリンピック

